

世界遺産アカデミー認定講師 File No.4

このコーナーでは、マイスターの称号を得て全国で積極的に啓もう活動をしている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当て、お話を伺います。第4回は中部地区を中心にご活躍されている豊崎美紀(とよさき・みき)さんです。

——世界遺産を「守り、伝える」

認定講師を目指したきっかけは、まず、「守り、伝える」のキャッチコピーが素直に心に響いたのが、事の始まりです。大学での専攻は史学科でしたから、歴史や地理、建築と環境などをミックスしていく世界遺産の学びの魅力に、どんどんハマっていきました。検定受験を続けていき、最後には、有難いことに第二期マイスターに認定されました。認定講師を考えたのはそれからです。勉強の過程で、知識だけではなく、視点や発想など、得たものが大きかったことに気づき、この体験を皆さんにも知っていただきたい! と思い立ちました。

2009年春と秋の検定で1級とマイスターを受験したのですが、その期間は学習にとても集中していました。計300時間以上は勉強したでしょうか。自己流ですが、正確な知識をインプットするために、縦軸(時系列)と横軸(地理的理解)にカテゴライズして、徹底的に書き出し作業をしました。その集大成が、写真で私が持っているスケッチブックです。100シートありますが、世界遺産の絵と地図で埋め尽くされています。講師となった今でも、大切なバイブルです。

2011年春に、関西方面のある大学で講師をさせていただきましたが、講義に出席した学生が3・4回生中心だったこともあって、就活問題に切実で、とても真剣に聴いていただき、アンケートの回答も検定受験を前向きに考えている学生さんが多く、その真面目さに心打たれました。また、昨年、私の対策講座を聴いてくださった方が、「教えてもらった勉強法で合格できました! 次の級も頑張ります!」と、この春も再受講されました。直接のリアクションは、とても嬉しく、励みになります。

ガイドランスのときに工夫していることは、「地図を使った勉強法」。これを受講者へお薦めしています。

例えば、ローマ文化圏を解説する場合には、ホワイトボードに地中海周りの簡単な地図を描いて、地理的な結びつきを具体的に理解してもらえるよう心がけています。講義内容の準備にも相当の時間を割きます。特に、使用する資料の読み込みは徹底して行います。どのような質問にも対応できるようになるには日頃の勉強が大切ですから、朝日新聞の隔週版「グローブ」を隅々まで熟読したり、BBCのドキュメンタリーなどを録画しておいて、世界遺産関連の時事ニュースを取りこぼしなく吸収しています。ユネスコHPのチェックも、続けていることの1つです。

——宇宙から見下ろすと、地球上に国境は存在しない

2011年は25件が新規に登録されました。内容としては、よくバランスが取れていたのではないのでしょうか。ユネスコ事務局長在職中に松浦晃一郎氏が提言されていた、地域的時代的不均衡の解消や石の文化中心主義への反省などの、ユネスコの今後の流れを見据えることのできる妥当な結果であったと、私自身は納得しています。特に、スイス、ドイツ、オーストリアなどのシリアルノミネーションとなった「アルプス山脈周辺の先史時代の掘立柱住居群」が私のお気に入りです。国境を超えるという概念に、魅力を感じます。「宇宙から見下ろすと、地球上に国境は存在しない」との名言がありますが、まさしくそれです。同じ文化圏から生まれ出た自然や文化財を共有して残していくという考え方に深く共感します。

私がずっと継続して注目している世界遺産は、「コソヴォの中世建造物群」です。中でもデチャニ修道院は、内戦、人種、宗教といった現代が抱える問題を、リアルに提言できる貴重な世界遺産の1つです。マイスター試験では、この事例を論述しました。争



いの終結と住民の方々の平安を強く願っています。

今後、認定講師として、無形文化財の保護保全に関わる活動をしていけたらと考えています。昨年、『結城紬』が無形文化遺産に登録されました。着物を趣味としている私には、日本の伝統文化である和装織物の技術が世界に認められ、大変嬉しい思いです。以前、能狂言を習っていたときに、古い装束の虫干し(お衣装の補修手入れのこと)のお手伝いをさせていただく機会がありました。何百年も前の織物の美しさに感嘆する一方で、これを使用しながら保存するのは大変なことだとも感じました。世界遺産講師へ出向く時に着物を着て行けたら、無形文化遺産を身近に感じてもらえるかも知れませんが、将来の目標は「世界遺産講座の着物の名物おばあちゃん先生」といったところ(笑)。

認定講師の資格は、1級相当以上の認定が必要です。何らかの事情で検定受験を中休みされている方には、最終マイスター受験までチャレンジされる事をお奨めしたいです。私も2級までの受験勉強は気が重くてなかなか集中できなかったのですが、不思議なことに、1級から急に楽しくなってきました。是非、世界遺産学を自分なりに極めて、次世代に世界遺産活動の素晴らしさを伝える側にいらして、お仲間になってください! お待ちしています。